

第11回医療の質・安全学会学術集会は、「患者安全」(Patient Safety, 2<sup>nd</sup> ed2010)を刊行された Charles Vincent 氏を特別講演としてビデオメッセージを収録しました。患者安全は学問として確立しつつあるものの、これまでの教科書はほとんど分担執筆であるため統一した視点に欠けるきらいがありましたが、「患者安全」は単著として、現時点における患者安全学の一つの到達点を示していると評価されています。

#### Overview (概観)

- ・ (患者安全の物語)
- ・ (進歩と課題)
- ・ (状況に応じた安全性)
- ・ (実際の方策と介入)
- ・ (在宅医療)

#### Overview

- ・ The story of patient safety
- ・ Progress and challenges
- ・ Safety in context
- ・ Strategies and interventions for the real world
- ・ Care in the home

重大医療事故の検証調査において中心的存在。  
英国医療の質委員会。  
英国患者安全と質サービス研究センター責任者。  
英国の患者安全に関わる制度/政策の重鎮



Charles Vincent

心理学者として英国 (National Health Service) で臨床現場での経験を積んだのち、安全研究を開始。ロンドン大学臨床リスク部門心理学教授を経て、現オックスフォード大学実験心理学部門教授。

#### 企画・制作

一般社団法人医療の質・安全学会  
〒113-0033  
文京区本郷 2-29-1 渡辺ビル 201  
TEL 03-5803-7828 FAX 03-5803-7829  
secretary@qsh.jp



# 患者安全の過去・現在・未来

## Patient Safety : Past, present and future

チャールズ・ヴィンセント

(オックスフォード大学教授)

第11回 医療の質・安全学会学術集会 特別講演 1

座長：相馬孝博 (千葉大学医学部附属病院)

2016年11月19日(土) 11:20~12:20

第1会場 (コンベンションホール B)